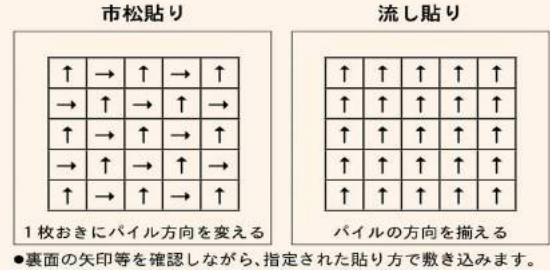


タイルカーペットの施工

※当社製品については、床材総合カタログ掲載の施工方法／メンテナンスのページをご確認の上、現場状況に合わせた適切な対応をお願いします。

タイルカーペットの特性

- ・タイルカーペットはピールアップボンドによる施工が基本となります。目地がきつくなりすぎないように注意して施工する必要があります。
- ・施工は市松貼りや流し貼りがありますが、商品によっては流し貼りは目地が目立つ場合があります。



製品に関してのご注意

- ①光、熱などの影響
光や熱、また窒素酸化ガスなどの影響などにより変退色・変形する可能性があります。また長時間直射日光があたる場所では変退色が早くなる可能性がありますので、カーテン・ブラインドなどで日よけをしてください。外部との出入口(風除室)等は、外からの影響で変退色や劣化が早くなる可能性がありますので、マットの設置をお勧めします。
- ②汚染による影響
強い作用を持つ洗剤・漂白剤などの化学物質や、マジックインキ・毛染め剤などの汚染物質により変退色や変質を招く場合があります。またゴム製品や家具などの保護用ゴム剤・塗料・防腐剤・殺虫剤などによって、カーペットが汚染され変退色を招く恐れがあります。
- ③色味
製品の色調は光源の種類、光量などにより異なって見えることがあります。また淡色の場合、汚れが目立ちやすくなる場合がありますので、選定時には十分ご配慮願います。
- ④タバコ
火の付いたタバコを落とした場合はすぐに取り除いてください。こげ跡がつくと取れません。
- ⑤家具などによるへこみ
家具や什器、ハイヒールなどの局所荷重により、へこみ跡が残る場合があります。
- ⑥重量物による損傷
重量物を長時間置いたままにすると、パイルがつぶれたままになる可能性があります。
- ⑦結露水
壁面の結露水は、カーペットの変色・カビ・臭気発生の原因となります。換気を良くするなどの結露対策を講じてください。
- ⑧製品の臭い
製品には素材固有の臭いがあります。臭気が気になる場合は換気してください。
- ⑨その他
カットパイルは使用中に雲状の色むらに見えることがあります。この現象はカットパイル特有の性質であり、品質の欠陥ではありません。

施工上のご注意

■材料の確認

- ①材料について
梱包ケースに記載の品名、規格、色番号、ロット番号、数量などを確認し、施工を開始してください。品番・ロットによって寸法や色柄に若干のばらつきがあります。施工の際はご注意ください。またタイル裏面の矢印で流れ方向をご確認ください。方向が変わると色相差のように見えることがあります。
- ②現場環境に慣らす
必ず24時間以上前に搬入し、施工環境温度に慣らしてください。
- ③適切な保管場所
製品を保管する際は、湿気の少ない平坦な場所で平置きし、6段以上積まないでください。不陸のある床の上に保管すると歪みや癖が発生し、納まりが悪くなります。直射日光の当たる場所での保管は避けてください。なお保管の際は、雨水などによる水濡れを避けてください。

■施工現場の確認

- ①温度調整
施工を行う前に、現場環境は室温15℃～25℃、湿度75%以下であることを確認してください。
- ②明るさの確保
現場が暗い場合は、照明器具を用いて十分な明るさを保ってください。
- ③清掃
下地に汚れ等があると十分な接着強度が得られないため、汚れを取り除いてください。ワックスが付いている場合は除去してください。
- ④下地調整
下地に段差等がある場合は平滑にしてください。また下地の影響等で製品が浮いてしまうような場合は、重しを置いてください。
- ⑤施工
タイルカーペットに反りやはがれ、膨れなどが生じた場合は、直ちに補修してください。放置すると全体に影響が及び、美観を損なうほか、つまづいて転倒するおそれがあります。
- ⑥二重床への施工
二重床はピールアップ性が強く求められるため、接着剤「CP-6N」による施工が必要です。二重床自体が動く場合があります。それに伴い製品のズレや反りが発生する場合がありますのであらかじめズレ防止をしておく必要があります。
- ⑦接着剤
接着剤にて施工する場合、条件、環境等により使い分けしてください。接着剤は各使用方法に基づきご使用ください。なお接着剤を使用する際は、換気を十分に行ってください。

■施工後の自主点検

タイルカーペットのパイルの方向性が合っているかどうか、また目地部分の浮きや隙間の有無をチェックしてください。その際、パイルのほつれや飛び出しがないかも同時に確認してください。

■養生

接着剤などによる汚れや、その他不備な箇所がないかを点検してください。また養生シートを留める際、粘着テープは直接床材に貼り付けしないでください。床材を汚染する原因となります。

■その他

取り替え部は、製品ロットの違い、日焼け等により色・サイズが合わない場合がありますのでご了承願います。

■指定接着剤



CP-6N

※当社の指定接着剤は、JIS規格による接着基準を満たしていますので、必ずご使用ください。
※接着剤は、直射日光のあたらない場所(5℃～35℃)で保管してください。

■基本的な施工の流れ



■基本的な施工方法

01 割付

貼り方向・取り合わせを検討の上、割付けします。なお割付の際は、廊下や通行量が集中する場所にカーペットの継ぎ目がこないようにします。

02 接着剤の準備

- ・接着剤は指定のピールアップボンド (CP-6N) を使用してください。
- ・接着剤の塗布量やオープンタイム、貼付可能時間は、以下を目安にしてください。

塗布量の例) モルタル下地: 約100~120g/m²

※クッションパッキング品の場合、塗布量は従来の約2~3割多くしてください。(160g/m²程度)

●CP-6Nのオープンタイム、貼付可能時間

オープンタイム (目安)	春・秋 (15℃~25℃) 10~20分 夏 (25℃~35℃) 5~15分 冬 (5℃~15℃) 15~25分
貼付可能時間 (目安)	春・秋 (15℃~25℃) 10~40分 夏 (25℃~35℃) 5~40分 冬 (5℃~15℃) 15~45分

03 接着剤の塗布

接着剤を塗布する際は、クシ目ゴテで墨出し線から均一に塗布してください。また標準塗布量やオープンタイム、および貼付可能時間は必ず守ってください。接着剤が透明になってから、施工を開始してください。

04 貼付・切り込み

- ・タイルカーペットの裏面の矢印を確認し、基準線に沿って敷き込んでいきます。 ※通常は、市松貼りをおすすめします。
- ・壁際など、タイルの切り込みが必要な部分は、裏カットまたは表カットで切り込みます。

■裏カット

切り込みを行うタイルカーペットを一枚手前のタイルカーペットの上に正確ののせて合わせ切りします。厚さの半分までカッターを入れた後に、折り曲げて再度カッターで切り落とします。

■表カット

カッターを深く入れ、一度にパッキング層まで完全にカットします。残った場合はカッターを使って切り離します。

ご注意

- 表カットすると切り込み寸法が長めになりがちなので注意してください。



05 圧着

施工後はハンドローラーで目地部分を圧着し、浮きなどを解消してください。

06 施工後の点検

施工後、目違いや目地隙、汚れなどがなければ確認します。また目地にパイルをはさんでいる場合は補修してください。

07 養生

不備な箇所や接着剤などによる汚れの有無を確認し、必要に応じて養生シートを敷いてください。

カーペットのメンテナンス

※当社製品については、床材総合カタログ掲載の施工方法/メンテナンスのページをご確認の上、現場状況に合わせた適切な対応をお願いします。

カーペットを美しく保つには、清掃頻度や歩行量に合わせた日常の清掃と管理、汚れを水際で防止する配慮が大切です。日常的な清掃は、バキューム(掃除機)作業、シミ取り、パイルのほつれ解消などが作業の中心となります。入口部分には泥除けマットの設置など外部からの汚れを持ち込まないこと、汚れたらすぐに拭き取ることが重要です。また、メンテナンスには建物に応じて、定期または不定期(年に1~2回程度)に、製品、施工方法、使用状況等を考慮して実行することを目的としたメンテナンス計画が必要です。

■基本のメンテナンス方法

日常作業			
① バキューム作業 カーペットに入り込んだ土砂塵埃の除去 (集塵機はアップライト型を推奨)	② シミ抜き作業 発見したシミの除去 (シミの種類を確認の上、 作業後はすすぎを確実に)	③ 部分洗浄作業 歩行量が激しく、汚れが目立つ 部分を洗浄 (事前の集塵はしっかりと)	④ 補修作業 パイルのほつれ、剥離等は発見後直ちに補修 放置すると全体に広がります (パイルは引っ張らず、処理はハサミで切り取り)
定期作業			
① バキューム作業 カーペットに入り込んだ土砂塵埃の除去 (集塵機はアップライト型を推奨)	② シミ抜き作業 発見したシミの除去 (清掃の行き届かない部分 にも注意)	③ 部分洗浄作業 歩行量が激しく、汚れが目立つ 部分を洗浄 (事前計画に則り、合理的に)	④ 計画洗浄作業 日常作業では時間的にも手が届きにくい部分を、 計画的に実施
※定期清掃は現場の状況に応じて計画的に実施するのが一般的です。			
特別作業※			
① バキューム作業 カーペットに入り込んだ土砂塵埃の除去 (集塵機はアップライト型を推奨)	② シミ抜き作業 発見したシミの除去 (シミ取りに漏れがないか を要チェック)	③ 部分洗浄作業 歩行量が激しく、汚れが目立つ 部分を洗浄	④ 全面洗浄作業 バキュームを実施した後、全面洗浄(入念なすすぎと 適切な乾燥が美観維持のコツ。可能であれば、専用洗 剤をブレスプレーした後スチーム洗浄を推奨)
※特別作業は、共用部2回/年、占有部(事務所内等)は1回/年程度が一般的です。また、作業が入念にできるよう、時間に余裕のある時期に実施すると理想的です。			

バキューム作業

カーペットのバキュームの器具としては、回転ブラシのついた縦型が適当です。ブラシはカーペットのパイルを起こし振動させて、底に溜まったゴミを取り除くのに有効です。

シミ抜き、補修

- シミ汚れが発生した後、長時間放置すればするほど、シミを落とし難くなるだけでなく、シミの部分に新たに汚れを呼ぶ場合やパイルの色が飛ぶ原因となることもあるので、汚れたら、すぐに拭き取ることが原則です。
- シミ抜きは基本的に中性洗剤を使用して汚れを拭き取り、中性洗剤を使用した部分が再汚染することを防ぐためにぬるま湯で固く絞った雑巾で拭いて中性洗剤が残らないように仕上げてください。シミの範囲が広い場合にはスポットクリーニングを行います。
- タイルカーペットではシミ汚れ等が発生した場合、その部分だけ新しいタイルカーペットと交換できるように、補修用として敷き込み面積に対して2~3%程度のタイルカーペットを保管するようにします。

部分洗浄作業

汚れやすい所の表面近くの汚れを部分的に除去する方法で、計画的に行うほか、突発的な汚れが発生したときには適時スポットクリーニングを行います。
バフingパッド方式は、専用洗剤を肩掛けスプレーなどで噴霧し、モップを丸くしたようなパッドで2~3回拭き上げます。ポリッシャーで実施できる手軽なスポットクリーニングの方法です。

全面洗浄作業

エクストラクターを使用する方法はエクストラクション方式とも呼ばれ専用洗剤を使用する場合と、あらかじめ洗剤を噴霧しておいて回収する場合があります。比較的大きなシミや、こぼした量が多いシミが発生した時のスポットクリーニングにも有効です。
エクストラクション方式は、パイル深部の堆積塵を除去し、パイルの空隙を回復させ美観を回復させる能力に優れ、汚れの回収力が最も高いクリーニング方法です。エクストラクション方式では、残留するクリーニング液を極力除くために、すすぎ工程を必ず入れ、乾燥を十分に行うことも重要です。乾燥が不十分なままカーペットの上を歩行すると再汚染の原因となります。全面クリーニングは専門業者に依頼して、全体の工程を想定したメンテナンス計画(作業時間)を立てて行うようにします。

タイルカーペット後染め製品メンテナンス上のご注意

後染め製品(ナイロンBCF表記品)は、定期クリーニングや日常のシミ取り作業を行う際、使用する洗剤によっては色落ちなどカーペットの風合いを損ねる場合があります。洗剤やシミ取り剤を使用される場合は、できるだけカーペットに影響の少ない中性タイプ[※]を選定し、洗剤に記載されている注意書きを守って頂き、必ず事前に目立たない箇所で見分けを確認してから使用してください。

※漂白作用のあるシミ取り剤を使用するとカーペットの色落ちの原因となりますのでご注意ください。

(次亜塩素酸ナトリウム、過酸化水素、過炭酸ナトリウムなど漂白成分を使用しているシミ取り剤の使用は避けてください。)

■推奨カーペット用洗剤

- ・バフingパッド方式：リンレイ社「ボンネットカプセルクリーナー」
- ・エクストラクション方式：リンレイ社「無発泡性クリーナー」

■推奨シミ取り剤

- ・シミ取り剤：リンレイ社「シミトリクリーナー(マルチタイプ)」